

乳牛の飼料用イタリアンライグラスの収穫スタート

当センターでは、牛の飼料となる牧草として、春にイタリアンライグラス、夏にスーダングラスを作付けし、自給飼料の確保に努めています。

今年の春作イタリアンライグラスは、天候の都合で若干刈取りが遅れ気味となりましたが、晴天のタイミングを見計らい、5月6日から収穫作業をスタートしました。

刈り取った牧草は、ロール状に巻いてロールバールラップサイレージ*に調製し、当センターの繋養牛に約1年間給与します。

今後も引き続き、自給飼料を主体とした乳牛の飼育を実践していきます。

(*) 家畜の飼料として使用される「サイレージ」は、乳酸発酵させた牧草のことで、発酵により保存性を高め、長期間にわたって栄養価を維持できます。



刈り取られ、ロール状に巻かれた牧草



長期保存可能なロールバールラップサイレージ飼料